

# ～ユジノサハリンスク～



ユジノサハリンスクは人口約18万人、サハリン州の州都で経済・行政・文化の中心となっています。かつて「豊原」と呼ばれ、日本政府の樺太庁がおかれていました。郷土誌博物館(旧樺太庁博物館)や美術館(旧拓殖銀豊原支店)などの建物は当時を偲ぶことができます。

島内の人口は40万人で、北サハリンには豊富な油田と天然ガスが確認されており、大規模な石油開発事業を展開しています。

## ○郷土誌博物館 (Regional Museum)

Address: 29 Communist Prospect Yuzhno-Sakhalinsk Sakhalin Russia 693010

Tel: (4242) 72-75-57

Open: daily, except Monday, 11.00 a.m. - 6.00 p.m.

日本統治時代の1937年に設立。旧樺太庁博物館。石造建設で日本の城郭を思わせるたたずまいです。サハリンの自然や少数民族の展示があり、特にアイヌ民族に関して詳しい資料が多くあります。館内の中庭には日露戦争当時使用された旧ロシア軍と旧日本軍の大砲が展示されています。



## ○展望台(旧旭ヶ丘) (Observatory)

ゴールヌィ・ヴォーズドフと呼ばれる標高600m～800mの展望台で、ユジノサハリンスクの街並みを一望することができます。夏は野外バーベキュー設備が利用でき、サハリン市民の憩いの場でもあります。



## ○ガガーリン文化公演(Gagarin Park)

街の北東にある旧豊原公園は豊かな自然に包まれており、市民の憩いの場所となっています。テニスコートや観覧車、池などがあり、その池を一周するように子供鉄道が走っています。子供鉄道は鉄道局が管理する本格的なシステムで、運営は鉄道学校の子供たちが行っています。



○サハリン州立美術館(Arts Museum)

Address: Lenin street 137

Tel:(4242)72-29-25,72-36-43

Open: daily except Monday 10:00-18:00

日本統治時代の旧拓殖銀行の建物を現在は美術館として利用しており、サハリン内外の近代美術7千点の作品を展示しています。



～ユジノサハリンスク郊外～

○トゥナイチャ湖(Lake Tunaycha)

市内から南東へ約40km。オホーツク海に面している湖で、夏になると泳いだり釣りをしたりすることができます。



\*\*その他の都市\*\*

◇コルサコフ(Korsakov)

東シベリア総督であったコルサーコフ将軍を記念して名づけられていますが、日本時代は大泊(おおどまり)と呼ばれていて、稚内からの鉄道連絡船が発着していました。



◇ホルムスク(Kholmsk)

西海岸にあり日本時代は真岡(まおか)と呼ばれていた、ユジノサハリンスクに次ぐ第2の町。旧王子製紙真岡工場が当時のままで操業を続けています。

◇ノグリキ(Nogriki)

ユジノサハリンスクより北へ600km。民族の伝統は失われてしまいましたが、約2000人の少数民族の人たちが暮らしています。



◇オハ(Okha)

サハリン最北部の油田都市。